朝の一斉登校指導





朝の一斉登校指導（マナーアップ）より

PTA生活委員会委員長　3年2組　雨宮　麻紀

生活委員の主な活動である一斉登校指導を6月10日（水）に行いました。学校周辺のそれぞれの担当場所で先生方と一緒に子どもたちの登校の様子を見守りました。私は正門前の担当でしたが、自転車、バイク、バス通学、車での送迎と通学手段は様々で各自がしっかり交通ルールやマナーを守ることが、自分だけでなく周りの安全を守ることに繋がっていると改めて感じました。時間帯によっては西門の周辺が混雑する様子も見られたので、巨摩高生の安全のためにも心と時間にゆとりを持って登校してもらいたいと思いました。先生方も日々声かけを行ってくれていますが、生活委員の年2回の活動が交通ルールやマナーを再確認する機会になれば幸いです。

PTA会長挨拶



関東地区高等学校 PTA連合大会（群馬大会）に参加して

PTA会長　3年5組　保坂　直樹

7月2日に山梨県を出発し、3日の第72回関東地区高等学校PTA連合会大会（群馬大会）に小澤教頭先生と参加しました。大会スローガンは、「自ら考え行動できる子どもたちを育むためにPTAとしてできること」で、本年は1日開催でしたが、前日から和やかに山梨県PTA役員の懇親会が開かれ、交流の輪を広げることができました。

当日の群馬大会では、桐生市出身の（株）ホットランドHDの佐瀬守男社長の「夢をかたちに」と題した記念講演を拝聴しました。後の築地銀だこ、現会社の姿になるまでの苦労が深く伝わる内容でとても感動しました。群馬県内の高校生によるダンスパフォーマンスや和太鼓の演奏の後、学校・PTA紹介として、茨城県立太田第一高等学校・附属中学校の「生きる力を支援するPTA活動」と栃木県立足利高等学校「私たちが考えるPTA」が発表されました。両校共に取り組み内容が素晴らしく、子どもたちが主体性をもって考える力を養う事を目的として様々な活動を通して楽しく学べる環境作りを行っている点に感銘を受けました。「子どもの成長・学校生活を支援すること」をPTA活動のベースに据え、日常の関わりを大切にして、できる時に、できる方が、できる形でやる！ せっかくの機会なのだから自分たちも楽しく活動しよう！ という内容で、私たちも巨摩高校において、PTAの中で先生方と連携をとり、子どもたちが心身ともに成長できる学び舎として、保護者が積極的に支え、時には子どもたちに寄り添ってあげる立場でありたいと思います。そして子どもたちが主体性をもち、自身の未来の夢に向かって「生きる力」を養っていける人になることを願っています。

末筆ながら、保護者の皆様には日頃より巨摩高校の明るい学校づくりにご協力いただき心より感謝申し上げます。引き続き皆様のご賛同とご協力を宜しくお願い致します。

校長挨拶



一緒に楽しむPTA活動

校長　武藤　一輝

6月のある日、PTAの保坂会長さんと若林理事さんが校長室を訪ねてくださいました。用件を伺うと、「校長先生、今年の学園祭はキッチンカーで一緒に売り子をやりましょう！」とのこと。そして、なんとエプロンとバンダナまで用意してくださっていました。そこまで準備していただいては断る理由もありません。「これはもう、やるしかないな」と腹をくくり、当日はPTAの皆様と一緒に学園祭を盛り上げることを決意しました。

本校では、令和6年度からPTAによる焼きそばなどの販売が再開されました。さらに昨年度からは、保坂会長さんのご厚意によりキッチンカーにもご協力いただき、学園祭の賑わいづくりに大きな力を貸していただきました。今年も「シャカシャカポテト」は大好評で、販売開始から間もなく行列ができるほどの人気ぶりでした。こうした活動が実現できるのも、PTAイベント支援委員の皆様をはじめ、多くの保護者の皆様のご協力があってこそです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

さて、近年はPTAの在り方や果たすべき役割について、全国的にもさまざまな議論が行われています。しかし、本校のPTA活動を見ていると、私はとても心強く感じることがあります。それは、多くの保護者の皆様が「子どもたちのために」という思いを共有しながら、自らも楽しんで活動に参加してくださっていることです。

PTA活動は、「やらなければならないもの」ではなく、「できる形で関わるもの」であってほしいと思います。高校生活の3年間は、保護者の皆様がお子様の学校生活に深く関わることのできる最後の貴重な期間です。その時間を義務感や負担感だけで過ごすのではなく、保護者同士や学校とのつながりを深めながら、一緒に楽しんでいただけたら幸いです。

もちろん、PTA活動には、生徒の学習活動や部活動を支える経済的な側面もあります。しかし、それ以上に価値があるのは、保護者と学校が同じ目線で子どもたちの成長を支え、ともに学校づくりに参加できることではないでしょうか。学園祭のキッチンカーでの活動も、その象徴の一つであったと感じています。

編集後記

今夏、約35年ぶりに母校である巨摩高校の学園祭に参加しました。今回の広報委員としての役割は、生徒を見守る保護者の皆様や、屋台を盛り上げるPTA役員の姿を写真に収めることでした。合間には自分自身も屋台を手伝い、会場の熱気を肌で感じました。昔に比べ「お祭り」感が増した学園祭で、子どもたちだけでなく大人たちも一丸となって楽しむ姿が印象的でした。PTAに参加していなければ見られなかった温かい風景に触れられた、貴重な経験に心から感謝致します。取材や撮影にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。今後ともPTA活動へのご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

PTA広報委員会副委員長　1年4組　石川　佳男

巨摩高PTAだより KOMA Style FOR PARENTS VOL.12

●発　行…山梨県立巨摩高等学校
〒400−0306　山梨県南アルプス市小笠原1500−2
TEL.055−282−1163　FAX.055−282−1104
●発 行 日…令和8年10月16日　●編集…巨摩高校PTA広報委員会

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!
巨摩高校　検索
URL…https://www.ko.kai.ed.jp/
E-mail…info@ko.kai.ed.jp

この印刷物は再生可能電力（CO_2排出ゼロ電力）で印刷されています。

News and Magazine of KOMA High School

2026. FOR PARENTS

KOMA Style

巨摩高PTAだより VOL.12

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。

巨摩高生のNo.1サポーター《PTA》が今年も「旬」の活動をご紹介します



野球応援

至る所に笑顔の花が満開です



バレー応援

親子二人三脚で駆け抜けた夏



サッカー応援



ホッケー応援

特集…Special edition

- 白嶺祭のPTA模擬店販売
- 夏の高校野球応援
- 広報委員長・イベント支援委員長・生活委員長メッセージ
- PTA会長あいさつ　関東高P連大会参加報告
- 校長あいさつ





白嶺祭にキッチンカー再び

白嶺祭の2日目、PTAイベント支援委員会では、「焼きそば」に「フランクフルト」「シャカシャカポテト」「スカッシュジュース」「チョコマシュマロ」「炙りチャーシュー丼」等を販売し、売上総利益 76,196円 を生徒会に寄付しました。









すべては子どもたちのために



以前、イベント支援委員会を担当したこともあったので、今年度は広報委員会を担当しました。広報担当の活動は、PTAだよりに掲載するため、PTA活動に参加している保護者の様子を撮影することでした。

生活担当による登校指導、イベント支援担当による白嶺祭での模擬店出店、各部活動で保護者が応援している様子を撮影しました。登校指導の写真は先生方の提案により、先生方に撮影していただきました。また、部活動の写真は、広報担当者がそれぞれ自分の子どもの大会で、保護者が応援している様子を撮影しましたが、何を応援している写真なのかが伝わるように撮影するのはなかなか難しいものですね。





イベント支援担当による白嶺祭での模擬店出店は、朝から大忙しでした。焼きそばやフランクフルトを調理し、キッチンカーも登場しました。広報担当も写真を撮影しながら、調理や販売の手伝いを行いました。忙しい中でも、皆さんと一緒に調理し、子どもたちと会話をしながら販売できたことは、とても楽しく、充実した時間でした。

「PTA活動とは？」「大変なのでは？」と思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし、PTA活動は普段の生活の延長にあるのではないでしょうか。ご飯の準備をすること、習い事に車で送っていくこと――。そのすべては「子どものために」行っていることです。部活動の応援に行くことも、PTA活動の一つかもしれません。白嶺祭のパフォーマンスを見に行くことも、そうかもしれません。

そう考えると、決して難しいことではありません。皆さんもすでにPTA活動を行っているのです。役員は、皆さんよりほんの少しだけ前に出て活動しているにすぎません。3年間しかない高校生活を応援するPTA活動を、皆さんで大いに楽しみましょう。

PTA広報委員会委員長　3年2組　常盤　直之

令和8年度 広報活動について

「チームコマ」でつなぐ笑顔

PTAイベント支援委員会委員長　3年2組　若林　靖子

6月18、19日に開催された白嶺祭において、PTAイベント支援委員会では昨年同様、模擬店を担当しました。今年も食堂前には保坂PTA会長のキッチンカーが登場。事前にポスター及びBLENDによる告知も行って学園祭への期待を高めました。模擬店、キッチンカーともに会場にはたくさんの笑顔があふれ、「チームコマ」の合言葉どおり、人と人とのつながりを感じる学園祭となりました。昨年の課題であったプラスチックごみ削減については、フランクフルトのパックを紙製に変更することで対応しました。小さな取り組みですが、環境に配慮した活動を心がけました。今後もこのような活動を継続していただければと思います。また、武藤校長先生にもミッフィーのエプロン姿で模擬店のお手伝いをしていただき、会場を大いに盛り上げてくださいました。今年も、全日制・定時制の生徒の皆さんが、それぞれ模擬店を運営。多くの生徒や保護者の皆様の笑顔に触れ、学校全体の活気を感じるとともに、PTA活動が学校を支える大切な役割を担っていることを実感しました。今回の活動にご尽力いただいた顧問の熊王先生をはじめ菊嶋先生、イベント支援委員の皆様、ご夫婦でご参加くださった方々、そして販売にもお力添えいただいた広報委員の皆様に心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支援とご協力のおかげで無事に活動を終えることができました。こうして素敵なご縁をいただけたことを嬉しく思います。これからも「チームコマ」の輪がさらに広がっていくことを願っています。



夏の高校野球応援



2026年7月5日。3年生にとって、最後の夏。勝利をつかみ取る熱い想いと、最後の大会を迎える寂しさ。様々な感情が交差する中、夏の大会が幕を開けました。

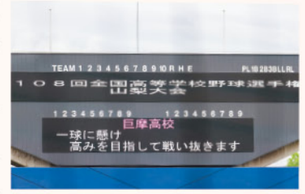
今年の初戦は、開会式直後に行われる開幕試合。注目度も高く、さらに日曜日の開催ということもあり、多くの高校野球ファンが見守る舞台での一戦となりました。

しかし、選手たちに緊張した様子はありませんでした。ユニフォーム姿から伝わってきたのは、自信に満ち溢れた燃えるような闘志。白球にすべてを懸ける戦士がそこにはいました。見た瞬間私は確信しました。「きっと勝てる」と。

そして、その確信は現実のものとなります。スコアボードに刻まれた「7－4」の数字。勝利が決まった瞬間の歓声、喜び、胸が熱くなった感動、そして涙。そのすべては、きっとこれから先も色あせることはありません。

吹奏楽部の皆様、生徒会の皆様、応援委員の皆様、そして応援に駆けつけてくれた生徒の皆様、先生方。本当にありがとうございました。皆様からいただいた力強い応援は、確実に選手たちのもとへ届き、その期待に見事応えてくれました。

両手を高く突き上げ、スタンドへ向かって勝利の報告と感謝の気持ちを伝える選手たち、そしてマネージャーたち。その姿は、まさに勇者そのものでした。本当に格好良かったです。



皆様の応援と選手たちの努力が一つになってつかんだこの勝利。それは、私たちにとって決して忘れることのできない、かけがえのない思い出となりました。

野球部保護者会長　3年1組　藤田　恭史





～期待を背に、戦士から勇者へ～